

編集・発行/品川区地域振興部商業・ものづくり課

Shinagawa Industrial News 1月・3月・5月・8月・10月発行

しながわ No.211

産業ニュース



2022年(令和4年8月)211号 | 〒141-0033 品川区西品川1-28-3 品川区立中小企業センター2階 | TEL.5498-6340 FAX.5498-6338

事業承継 特集号

区内中小企業の事業承継をサポートし、会社の明るい未来につなげます

品川区事業承継支援事業

事業承継の手順がわからない? いつでもどこでも事業承継オンライン講座!

専門家が経営者や後継者の皆さまに、事業承継をどのように進めたら良いかを分かりやすく動画で解説しております。事業承継をお考えの方はぜひご覧ください。今後も随時テーマを追加していく予定です。

動画はこちらから



<令和2年度分>

Table with 3 columns: 回数, テーマ, 講師. Contains 8 rows of lecture details for the 2021 fiscal year.

<令和3年度>

Table with 3 columns: 回数, テーマ, 講師. Contains 3 rows of lecture details for the 2022 fiscal year.

第1回 いちばん優しい事業承継セミナー ~何から始めますか? 事例を参考に手順を学びましょう~. Includes date, time, venue, and speaker info for Naoto Uchida.

第2回 社長交代日から逆算すれば... あっという間に立てられる事業承継計画. Includes date, time, venue, and speaker info for Shiroishi Shiroshi.

跡取りは育てましたか? 後継者塾 (全8回連続講座)

講師の事業承継士が後継者(候補)に経営に必要な知識やノウハウをお伝えします。講義・ワークショップ・発表会を通じて、後継者としての心構えや覚悟、経営者としての意思決定を体験しながら、自社について理解を深め、同じ境遇の仲間を作ることができます。受講生たちは、修了後も定期的に交流会を開催し、後継者同士で情報共有を図っています。

<令和4年度のスケジュール予定>

Table with 5 columns: 回数, テーマ, 日程, 時間, 開催場所. Contains 8 rows of lecture schedule for the 2023 fiscal year.

定員 15名

問い合わせ 商業・ものづくり課 中小企業支援係 〒141-0033 品川区西品川1-28-3 電話番号: 03-5498-6340 FAX: 03-5498-6338

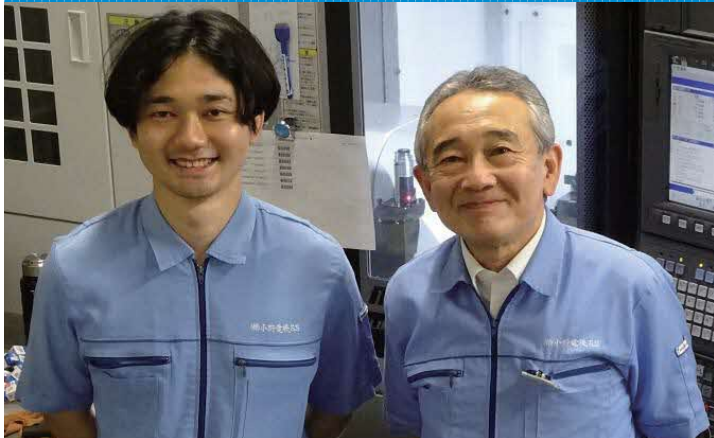
セミナー・相談・塾・お申し込み先 事業承継センター株式会社 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 518 電話番号: 03-5408-5506 FAX: 03-5408-5507



人としての付き合いから信頼関係を築いてきました。
地元愛をベースに「人を活かす経営」で会社を伸ばしていくことでしょ。品川区は頑張る中小企業を応援します！

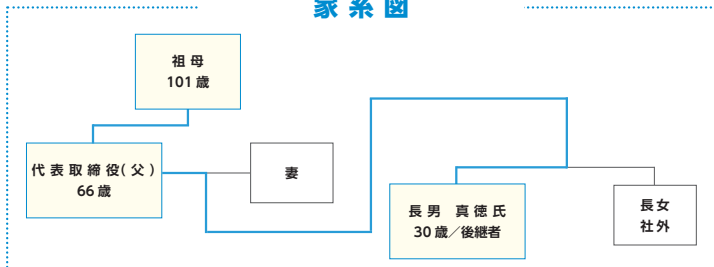
株式会社小野電機製作所

代表取締役の小野美未彦氏と息子の真徳氏



父の夢は息子の参画で大きく広がり、後継者を育てることをミッションと思っています

家系図



息子は自分の世界を模索する。ロボットは無限の可能性のある分野だ！

▶▶息子さんからの一言アドバイス

親父と上手に付き合う方法とはなん
でしょうか？

まさか、社長がそんなに思い詰めているとは知りませんでした。高校生のとき、大好きだった祖父が亡くなり、その時「あと継ぎを頼む」と言われていたのを思い出しました。父に言われて、小野家に生まれた自分の「宿命」を受け入れようと思ったのです。後継者はオンリーワンの希少な存在です。自分がやらなければ廃業かM&Aになると聞かされて、決意が固まったんです。

上から目線の親父との闘い方はありますか？

会社の中に親子を持ち込まないことですね。仕事の話では、上司と部下ですから。ベテランの技術や知見には尊敬の念をもって接することで

ただし、あんまり何回も同じ話をするときには、その場を離れたりします。コミュニケーションで、世代が違うポイントを分かり合えればよいと思います。

▶▶お父さんからの一言アドバイス

「生意気な若さ」との処し方はありますか？

先輩社員からどのように見られているか気にせず、志を持って行動してほしい。やはり態度で表すことが重要で、サラリーマンではないのですから、仕事の量は人より多くなくてはいけません。率先して働き、誰よりもたくさん動くことを決めて下さい。それがあって、はじめて意見を聞いてもらえると思いますよ。

▶▶ ADVICE

長男への引継ぎをめざす小野家の挑戦

株式会社小野電機製作所 小野美未彦社長と小野真徳取締役にお話を伺いました。

当社は84年目を迎えた区内でも有数の歴史を誇る製造業です。

社業は順調で、安定しているように見えますが、数年前の社長は大きな悩みを抱えていました。

それは後継者が決まっていなかったことです。

母親の介護による家庭内の負担や社長自身の今後を考えると、眠れない夜を過ごし、廃業やM&Aがチラチラと頭をよぎったこともありました。

小野社長には長女と長男の2人のお子さんがいらっしゃいます。後継者候補を考えるなら、長男かと思われましたが、社長自身の考えは異なったものでした。

社長は3代目で、叔父から父へと継いできた会社を、今日まで支えて大きく成長させてきました。

とはいえ社歴は長くとも、安定的な仕事ではなく、オイルショックや円高、バブル崩壊にリーマンショックなどのあらゆる大波を乗り越えて生き残ってきました。

子どもや妻と過ごす家庭団らんよりも、常に会社を優先してきました。

従業員の生活を守り、顧客の要望に応えることが会社経営における最大のテーマとしてきたからです。夢中で働くうちに子どもたちは成長し、それぞれ自分が選んだ道へ進んでいきました。

長男の真徳さんは、都市建設にあこがれて設計士へと進んでいました。

父である小野社長の目から見ると、真徳さんは上場企業のサラリーマンとして、安定した収入と大きな仕事を任されて、充実した生活を送っているように見えました。

一方、真徳さんは、毎晩のように残業し、大規模なプロジェクトの一員として奮闘しながら、心のどこかで虚しさを感じていました。大企業の歯車として、一人の人間の可能性を試すことなく、疲れ果てている自分に気が付きました。

そんなある日、通勤途中で工場の前を通った際、祖父から機械の動かし方を教えられたことを思い出し、自分の暮らしの身近に工場があることが当たり前だと悟りました。忙しく働く職人の姿を眺め、すり減っていく自分とは違うなと感じていました。

互いの思い込みを見直す時が来ました

誰にも悩みを打ち明けられず、苦しんできた社長は、勇気をもって品川区の事業承継セミナーに参加をし、専門家派遣を申し込みました。

Q：親子で事業承継を行う上での悩みは何ですか？

息子には自分の夢があるから「継いでくれないだろう」という思い込みがありました。

そう決めつけていたのは、工場の経営がどれほど大変か、身をもって味わっていたからです。

しかし、息子のほうが一枚上手でした。自分の運命をしっかりと考えていたのです。品川の町が持つDNAかもしれません。

息子を引き込んだのですから、さらに会社を成長させ、安定的な仕事ができるようになりたいと、強く思うようになりました。

事業の将来性と収益の確保は、息子の未来のためにどうしても必要なのです。

Q：品川区事業承継専門家派遣を受けて役だったことは？

自分の頭の中を整理でき、同じレベルの話し相手になってもらったこと。堂々巡りしていた課題に新しい視点をもたらしたこと。そして、子どもたちと真正面から話し合う勇気がわいてきたことです。

Q：これから事業承継をしようと思う方へのメッセージをください

自宅でじっくりと専門家の意見を聞くうちに、「やはり息子に会社を継いでほしい」という本心に気づき、黙っていた妻もそんな社長の思いを後押しするようになりました。

「もう一度、真正面から息子と話をしてみます」

子どもの人生に手を出すことは非常に勇気がいることです。別の道に精進している息子をそのまま応援することが親の務めと思う一方、やはり、4代目となる後継者は身内であってほしいと強く願う自分の思いがありました。

お正月に家族会議を開き、親子ともに互いの本音をぶつけ合いました。

後継者候補としての打診を受けた真徳さんにも迷いがありました。

経営者としての社会的責任の重さや、自分より年長の社員を部下として扱えるのか、考えれば不安だらけでした。しかし、家族会議における父からの本気の誘いを受け、後継者としてやってみたいという「挑戦心」が湧いてきました。後継者について学べる講座にも参加し、自身と同じ境遇の仲間と出会い、意見交換を行うことで気づくことも多くありました。

真徳さんの後継者としての強い意志を受け取り、小野社長は真徳さんを後継者とするための準備にとりかかりました。社内への受け入れ、仕事に必要な知識・技術の習得など、多岐にわたる準備を進めていく必要があります。

今回の事業承継士からのアドバイスを受けて、「譲る側の思い」と「受け継ぐ側の心の準備」その両方が整って、はじめて事業承継がスタートできることを知りました。今後も事業承継計画を早めに作成し

後継者の成長を見つつ、着実に承継に向けて歩みを進め始めています。

都市型製造業として生き残る道

後継者を得て、小野社長は「地域の未来」へと進もうと考えています。「3Dプリンター」などを用いて最先端の技術に挑戦していき、新分野については後継者となる真徳さんが切り拓いていくことになります。

ロボティクスは、これから競争が激化する領域であり、品川区に立地する希少な「ものづくり企業」として、地域の優秀な人材を集めて、産学連携を模索していきます。

現3代目社長の作り上げた大学・公的研究機関との人脈に、次世代の4代目が新しい息吹を加えていきます。

インタビュー

何気なく親の会社に入ってしまう人が多いですね。しばらく修行の期間が過ぎたら、何のために働くのか、経営トップとは何のために居るのか、考えてほしいです。「覚悟」をもって仕事をすれば、「志」が見えてくるものです。後継者としての役割を、「運命への挑戦者」として勇気を持って一歩を踏み出してほしいですね。

Q：品川区での事業展開のメリットは何でしょうか

自分が生まれ育った町で、後継者と共に、次の時代も動き続けられることは幸せなことです。「この町を守る、働く人を活かすこと」。この町には大きな才能の集積があるので、そして、仲間を大切にしてほしいです。技術は互いを知らなければ連携できないもの。人として信頼関係を作ることができるのは、地元ですからね。

Q：製造業を事業承継して続けていく事のポイントは何かですか？

単なるものづくりから、「デザイン経営」へと進んで行けば、活路は見いだせると思います。新しいことへの挑戦心を失ったら、未来は作れないからです。

案内

株式会社小野電機製作所

株式会社小野電機製作所

検索

代表取締役：小野 美未彦

取締役：小野 真徳

創業：1938年5月24日

代表電話番号：03-3783-6781

メールアドレス：eigyou@ono-denki.com

ホームページ：http://www.ono-denki.com

会社所在地：〒142-0051 東京都品川区平塚2丁目4番17号

経済産業省から
「地域未来牽引企業」に選定

新時代をともに切り拓く

最先端研究開発を挑む
皆様をサポートします。

事業承継士 が行く!

～品川区事業承継専門家派遣の実例から～

東洋機材株式会社

会長の田中修一氏と代表取締役の三部智弘氏



並んで写真に納まるお二人は、実の親子のように見える。実際に師匠と弟子の関係でもある。

両社は品川区の立地を生かし、大学や政府系の研究機関と長期間にわたる取引関係を維持し、共に後継者を得たことが、次の発展を約束しています。

お嬢さん呼び込む勇気!

東洋機材株式会社 田中修一会長と三部智弘社長(お嬢さん)から話を伺いました。

今を去ること3年前。板金関係の工場に勤めていた三部さんは、当時社長だった田中さんから、東洋機材株式会社の後継者として、打診を受けました。

何よりも、「後継ぎをするかどうかは本人の意思」が大切と思っていた田中さんは、まずはお嬢さんである前に「一人の技術者」として、10人の仲間と仕事していた三部さんの意思確認が必要と考えたからです。

お正月に家族が集まる時があり、その場で初めて軽い打診を行いました。

その後、8月に決算を迎え、その際に少し強い気持ちを込めて、来るかどうか、転職するかどうかを聞き、翌年の5月に三部さんは腹を決めました。

婿家に入る決心はムコとしての挑戦!

とはいえ、やはり三部さんは、迷っていました。婿家の工場はいつも見ており、ベテランの職人さんが働く姿、機械の動き、データの処理、外注さんとの連携など、なんとなく頭には入っていました。

しかし、やっている仕事が違うし、金属を扱う点では一緒でも、機械も設備も違うため、本当に自分で務まるのかという不安がありました。

そこで、すべてをゼロから教わるつもりで、三部さんは後継者になることを引き受けました。

前職での経験や見栄はずべて捨てて、新入社員になったつもりで、叔父にあたるベテランの職人から、厳しい教えを受けました。そのような中でもこれまでにCADや図面読みの知識、NCレーザーの動かし方は経験していたこともあり仕事にまい進しました。

いきなり社長にさせられる!

「仕事の呑み込みは早いし、何よりもまじめ」三部さんの真剣さに、田中さんはある決意をします。

入社とほぼ同時期に「代表取締役の肩書」を譲ることとしました。

もちろん経営すべてを放り出すわけにはいかなかったので、「取締役会長」としてバックサポートを田中さんが行うこととしました。

三部さんは、田中家の長女と結婚した当時は、まさか婿家の稼業を「継ぐ」ことになるとは思っていなかったと言います。

ただ、工場が好きで、作業が苦にならず、明るい性格は昔からのものだと言います。

常に前向きな三部さん。後継者としての苦労はなかったのでしょうか?

その点を質問すると、「僕は機械が好きなのです」との答えが返ってきました。

あわせて、横から田中会長が「前向きで、難しい技に挑戦する心があるのですよ」と微笑ましく補足の言葉が返ってきます。

なんとも、うらやましいほどの息の合い具合ですが、これが3年の修業期間を過ごしてきた成果と感じました。

三部さんの教育係を務めるのは田中会長の弟さんで、ベテランの技術者として、注文先の仕様に合わせて細かい刃物の差し替えや作業手順、仕上がりを左右する勘所を教えてくださいました。

交換材料を機械にセットして、刃物をあてがい、高音質を発して材料がカットされていきます。

時には失敗することもあるかと思いますが、失敗した時は「田中会長は怒ったりしませんか?」と聞いてみたところ、田中会長は、「職人として一人前になるには、7年から10年はかかるもの。材料や刃物は買い替えがきく。切れなくなった刃物は惜しげもなく取り換えるもの、だから無理だけはするなどと言ってあります。しかし、ケガだけは絶対に許しませんよ。」との答え。

この質問のやり取りの際、急に田中会長の表情が鋭くなり、三部さんを見つめる視線に熱がこもります。

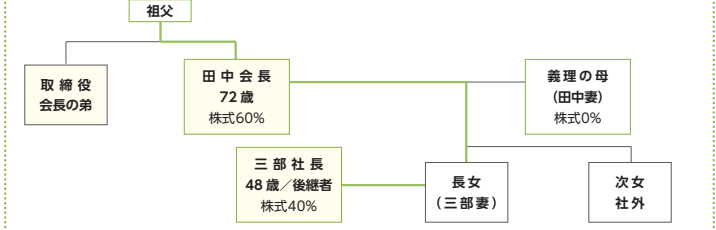
「道具には慣れが必要だし、機械には癖がある。材料だって同じように見えて、その日の機嫌ってものがある。無理な工程で作業を急いで、安全確認を怠って事故を招いたら、それは『職人の恥』だ。」と言います。

昭和の日本を背負ってきた、金属加工の屋台骨は、こうした町工場の人々の手で作り出されてきました。

品川の町を愛し、この地に生まれ育って、次の世代を支える人を見出してきました。

田中会長の眼力にかなった三部さんは、順調に職人と経営者の二足のわらじをはいて、未来へと向かっていきます。

家系図



▶▶お嬢さんからの一言アドバイス

義父と上手につき合う方法とはなんでしょうか?

後継ぎになることは、サラリーマン根性を捨てることです。目の前の作業だけで終わってられるうちは楽ですけど、自分一人で考えこむことも増えていきます。ただよくよく考えていても仕方ないから、チェンジですね。当社の場合は、会長から、「借金返済が進んで渡せるメドがついたから」と言われて継いだんですけど、周囲の同業は、どんどんやめていくから、黙っていても仕事は集中してくるようです。それだけ単価も取りやすくなります。技術も、経営も、見習い中ですから、謙虚にしていると、助けてもらえると思います。修業は辛いときもありますが、自分の成長のためだと思って前向きにやっています。

継ぐかどうか迷っているなら、「やってみなはれ」の精神で、挑戦したほうがおもしろいですよ!

▶▶お父さんからの一言アドバイス

「生意気な若さ」との処し方はありますか?

一つは、「年寄りが割り切る」ことですね。若い人と、昔の人間は別なのですからね。違うのが当たり前と、思わないとだめですね。ただし、自己流を進めるのは、まだ早いですよ。分らないことに出会ったら、すぐに聞きに来てほしいものです。知らないといえるのは、修行中だけです!

▶▶ ADVICE

インタビュー

Q: お嬢さんを後継者とした、最大のメリットは何ですか?

周囲の状況を見ると、親父の背中を見て、その仕事をマネしようとは思わないようです。反発心もあるのですが、外へ出て行ってしまい、この町から離れる者も多いですね。その点、娘は結婚すると、子育てに母親の助けが必要になるから、近所にもどって来る事になるのですよ。「長女には感謝しているよ」、こんないい婿さんを探してくれてたのですからね。

Q: 品川区事業承継専門家派遣を受けて役だったことは?品川区の後継者塾はどうでしたか?

第三者の目から見て、当社の必要な設備や、将来の在り方を話し合うことができました。後継者塾にも誘っていただき、参加することで、区内の知り合いもでき、特に、同じ機械加工の仕事をする同級生がいて、楽しかったです。ディスカッション、自分の意見を言うこと、「人前で発言する練習」になったことが良かったそうです。

Q: これから事業承継をしようと思う方へのメッセージをください

婿さんとうまくやるコツは、少し他人行儀ですが、一人の人間としての個性を尊重することですね。ベテランと同じことができるわけじゃないし、「考え方も育ちも違うのだからね〜」。

よく話し合って、手順をわきまえて、納得して進むことが必要ですね。

Q: 品川区での事業展開のメリットは何でしょうか

都会の真ん中で工場を維持するのは大変な時代になりましたね。新築マンションができて新住民の方から、音や、車の出入りでクレームもあろうと思います。それに土地が高くて工場の拡張はできないから、狭いところで工夫して機械を設置し、作業空間を生み出す苦労もあります。

でもね、ここは仕事がやりやすいのです。仲間がまだ、たくさん残っていますからね。外注先は、気心知れた長い付き合いだから、安心して仕事が出せるのですよ。

お客さんも、交通の便がいいから、時間節約になって良いといえます。

宅配便とか、ネット環境もありますが、とにかく全国から注文が来ますね。最近は川崎からも多いです。

結局、今もこの町に残る工場は、土地持ちの人がやっているから継続できるのです。何代も前から品川の住民ですからね。

Q: 古参社員との上手な付き合い方はありますか?

ベテランは、「素直な人が好きなのですよ」。言ったとおりやる人。自分で考えてやってみる人。挑戦する努力をする人。そんな若者なら、誰だって応援したくなりますよね。うちの婿さんは、特に明るいですからね、うまくやっていますよ。



親父の視線を背中に受けながら技術を磨く、お嬢さんの社長修業はまだまだ続く

東洋機材株式会社

少量多種の加工
及び短納期で
お客様の信頼を得ています
東京工業大学、千葉大学、
東京大学などの研究室と
長く取引させて頂いています。

東洋機材株式会社

検索

- 会長: 田中 修一
- 代表取締役: 三部 智弘
- 創業: 1961年8月1日
- 代表電話番号: 03-3781-9061
- 会社所在地: 〒142-006 東京都品川区 荏原4-18-13

事業承継型M&Aについての案内



『事業承継型M&A』って聞いたことがありますか？

M&Aは、社会の大切な資産を未来に残す事業承継の方法のひとつ。廃業よりもM&Aを選択することで、日本の未来が明るくなります。

M&Aの真実

- 事実1** M&Aの理由の第1位は事業承継！
- 事実2** 社員はリストラされるどころか給与アップ・職場環境が好転することも！
- 事実3** 企業価値を正當に評価してくれてオーナーは株式を換金できます！

事業承継型M&Aの訪問相談

(専門家による戸別訪問です。)
品川区内の事業者は、

5回まで相談無料。

こんな疑問、不安はありませんか？

- Q** 年商2億円、従業員8名、収支トントンの我が社を引き継いでくれますか？ **A** もっと小さな規模で、赤字の会社でも、買い手が現れる場合もあります。はじめから諦めず、先ずはご相談ください。
- Q** 手数料が高いと聞いた。高く売れないと払えないし、どうやって売値を決めるの？ **A** 最近では、着手金を取らず、数百万円～の手数料で支援する機関も出てきました。一度ご相談ください。
- Q** いきなり会社を売ることはできるものなのか？ どんな準備が必要なのか？ **A** 株主の整理、社長個人と会社との取引の解消、契約書・発注書等の整備など、平均して数ヶ月から2年程度で準備ができますので、ご安心ください。

動画配信

品川区のホームページからアクセス

品川区中小企業支援サイト 検索

事業承継オンライン講座(視聴無料)

いつでも、どこでも、
気軽に見られますよ!



誰に相談しますか？ 事業承継専門家派遣

「事業承継士」が戸別訪問し診断や事業承継計画の策定など様々なご相談を受け付けています。休日、早朝から夜間まで対応可能です。品川区内の事業者のみご利用いただけます。**1社3回まで相談無料**です。(M&A等の相談は5回まで)

気になることがあれば、
お気軽にご相談ください！

- 事業承継は何から手を付けたらよいかわからない。
- 事業譲渡・売却先を探して、会社を存続させたい。
- 後継者が決まっていない／後継者が育っていない。
- 廃業かどうか迷うけど、活かせる経営資源がある。
- 後継者候補がいない。誰か、探したいし譲りたい。
- 後継者に新たな事業にチャレンジしてもらいたい。

お金の心配なら

品川区融資あっ旋制度(事業承継支援資金)

事業承継の際に「運転資金・設備資金が足りない」という区内中小企業事業者のために、必要な事業資金を低利で借り受けできるよう、取扱金融機関に対し区があっ旋します。

事業承継支援資金

- 【利率】 本人負担3年間無利子、4年日以降0.6%以内
- 【あっ旋限度額】 2000万円 【信用保証料補助】 区が2/3補助
- 【返済期間】 7年以内(うち据置6か月)

品川区事業承継設備投資助成

事業承継をする(もしくはした)ことによる後継者が新たに取り組むための設備更新および更なる発展に向けた最新機械設備導入に対する経費の一部を助成します。

- 【助成額】 製造業の方:最大500万円(対象経費の1/2)
その他の業種の方:最大250万円(対象経費の1/2)
- 【申請期間】 令和4年4月1日(金)～令和5年1月31日(火)
午後5時必着



※本助成金申請前に、事業承継専門家派遣および品川区経営相談の実施が必要となります。詳細は、中小企業支援サイト内の募集要項をご確認ください。